

学級担任のまなざし 15

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.26(Fri)

「小さな変化に目を向ける」

「おはよう。」「おはようございます。」教室で子どもたちを迎え、朝のあいさつをする、それがある先生の日課です。子どもたちとあいさつをすると、一日を元気に過ごすエネルギーをもらえる気がするそうです。その先生から、あるエピソードを教えてくださいました。

その朝、いつものように教室で子どもたちを迎えていると、いつも自分からあいさつをしてくる男子の「おはようございます。」の音が聞こえませんでした。担任から「おはよう。」とあいさつをすると、ぎこちない笑顔で「おはようございます」と、小さな声であいさつが返ってきました。何だか様子がおかしいなと気にかかりましたが、他の子とあいさつをしているうちに、そのことは忘れてしまっていました。

業間休みのことです。外で子どもたちと学級遊びをしていると、朝の男子の姿が無いことに気がつきました。教室に行ってみると、その男子は一人で読書をしていました。担任は、朝の様子を思い出し、話を聞いてみました。すると、朝、兄弟げんかをしてお母さんに叱られたことや、いらいらして外に出る気になれなかったことなど、いろいろと話をしてくれました。

子どもたちが普段の様子と違っていたり、トラブルを起こしたりする時には、事前に必ず何らかのサインを発しています。小さな変化を見逃さないことが、子どもの状況を知る第一歩になると改めて感じるエピソードでした。